



印西市立印西中学校

自立貢献

学校だより

令和8年6月30日発行

No.6 発行者 坂野 峰子



いじめ・体罰相談窓口：宇井・木島・小林瑛・山本達・新村・和田・鯉渕・教頭・校長
セクハラ相談窓口：新村・フェックナー・高木・木島・大川・和田・教頭・校長
特別支援コーディネーター：山本（達）・教頭



頑張れ、印西中！部活動壮行会～最大の敵は己にあり～

6月25日（木）、部活動壮行会を行いました。3年生の最後を飾る、そして『印西中学校』という看板を背負って挑む最後の大会、コンクール、展覧会が目前に迫ってきました。3年生からは、これまでの集大成に懸ける強い意気込みと熱い思いがひしひしと全身から伝わってきました。また、それに応えるように、1・2年生からも先輩方への感謝と心からのエールが送られ、学校が丸となる感動的な壮行会となりました。

校長の話では、3つのことをやり遂げるよう話をしました。

- 1つ 最後までやりきる…（最後まで強い気持ちを持ち続ける。）
- 2つ 苦しいときほど、自分や仲間を鼓舞する。
…（試合に出られない生徒の思いを背負っていることを絶対に忘れてはならない。）
- 3つ 掲げた目標を最後まで見失わず貫き通す。

私は中学から大学まで、より高みを目指すクラブ（部活動）を続けてきましたが、どんな場面でも「負けるかも」と思って挑む試合は一度もありませんでした。また、苦しいときほど「自分に負けない」という強い気持ちを持って挑み続けました。振り返ってみると、戦い続けた相手は、対戦相手よりも「自分自身」でした。ですから「苦しい場面から逃げ出さない」「弱気を見せない」「悔やむより次のことを考える」気持ちで挑み続けることができれば、結果はどうであれ、「やりきった」「やり遂げた」と言える最後を迎えられるのではないかと思います。もちろん、少しでも長く仲間との時間を過ごしてほしいですし、さらに次のステージに進んでいくことも期待しています。

3年生の最後の姿には、大きなメッセージが込められます。1・2年生には、その姿をしっかりと目に焼きつけ、次のバトンを受け取ってほしいと思います。



保護者の皆様には、お弁当作りから始まり、車での送迎や応援、また、子どもがくじけそうになったとき、励まし、支え、家を送り出していただきありがとうございました。さらに、我が子だけではなく部活動の子どもたち全員、そして顧問を支えていただきありがとうございました。子どもたちは、最後まで粘り強く、一生懸命に、そして、ひたむきに戦う（演奏・描く）姿で「感謝」の気持ちを表現するはず。3年生にとって最後の夏も、熱い応援をよろしくお願いします。

【陸上競技部】

【ソフトテニス部】



【柔道部】



【卓球部】



【男子バレーボール部】



【美術部】



【吹奏楽部】



【野球部】



【女子バレーボール部】



【2年生代表激励の言葉・3年生代表お礼の言葉】



1・2年生からも3年生に感謝の気持ちと熱い応援メッセージを届けました！

